

医師の
キャリア＆ライフを
支援します！

SHIMANE DOCTORS

えんネット CAREER & LIFE

Support Magazine 2015. Spring No.01

島根大学医学部地域医療支援学講座内

「えんネット」はしまね地域医療支援センターから委託を受け設立しました。

INDEX

TOP

ご縁をつなぎ、未来へのキャリアをつなげる
島根の医師支援

えんネット

えんネット INTERVIEW

出雲市立総合医療センター 内科医長

結城美佳先生
&
高橋芳子先生

えんネット × PICKUP HOSPITAL

出雲市立総合医療センター



INFORMATION

今後のスケジュール

4月14日(火) 平成27年度 第1回目ランチョンセミナー

講師 結城美佳氏
出雲市立総合医療センター 内科医長
日時: 4月14日(火) 12:00~12:40
場所: 島根大学医学部みらい棟2F 地域医療交流サロン
定員: 30名(参加費無料・お弁当あり)
申込先: 地域医療支援学講座
メール: career@med.shimane-u.ac.jp
電話番号: 0853-20-2558
主催: 地域医療支援学講座
共催: しまね地域医療支援センター

参加者募集中 ロールモデルを探しに行きませんか？

島根で頑張る女性医師等のもとで実習を行い、
自分の将来像を探してみませんか。
実施時期: 原則として長期休暇中の学生が希望する期間
(平日2日間程度)
実習医療機関: 受け入れ可能な島根県内の医療機関
旅費: 交通費、宿泊費を支給いたします

STAFF

相談窓口紹介

教授 谷口 栄作 特任助教 中畑 典子
特任助教 吉岡 みち子 事務補佐員 芦田 理恵子
★主な相談員
特任助教 日高 美佐恵 事務補佐員 岡田 知瑛里

復職支援相談窓口

えんネット

島根大学医学部地域医療支援学講座内



〒693-8501

島根県出雲市塩冶町89-1 島根大学医学部地域医療支援学講座内

TEL & FAX: 0853-20-2396

E-mail: en-net@med.shimane-u.ac.jp

www.en-net.jp

えんネット 検索

EVENT REPORT

2015年2月14日(土)に
託児付きのセミナーを
開催しました。



今回は研修会に民間の託児を依頼しました。若いお姉さんたちに囲まれ、大満足の子どもたちでした。

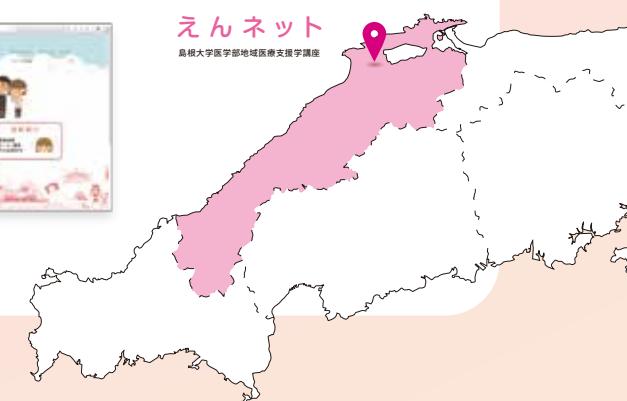
TOPICS

えんネットより

当マガジンでは就労環境
づくりに積極的に取り組
んでいる病院を取り上げ
ていきます。自薦・他薦を
問わず、ご紹介ください。



えんネット
島根大学医学部地域医療支援学講座



えんネット

先輩や同僚の女性医師が
サポートしてくれる
職場を探せたらな…

ブランクが長いから、
復帰は難しい？

話を聞いて
もらえる人が
いたらな…

みんな、自分の
キャリアプランって
持っているの？

子育てと仕事、
両立していきたい
けれど不安

先輩医師の経験を
聞いてみたい！

出産したら医師として
働くのは難しいのかな…



えんネットの取り組み

★女子学生の皆さんへ「ロールモデルを探しに行きませんか？」

普通の病院の実習では医師の仕事の部分しか見えないため、「将来自分がどうい生活をするのかを知ることができず不安を感じる」という意見を多く耳にしました。この実習では、島根県の地域医療の実際や女性のワークライフバランスについて知るために、先生の診察や往診の様子を見学、女性医師と1日行動を共にするという実習を行っています。是非一緒に、島根で頑張る女性医師のもとで実習を行い、自分の将来像を探してみませんか。

参加者募集

実施時期：原則として長期休暇中の学生が希望する期間（平日2日間程度）
実習医療機関：受け入れ可能な島根県内の医療機関
旅費：交通費、宿泊費を支給いたします

★託児付きセミナーやトレーニング

子育て中の医師でも参加しやすいよう、託児付きのセミナーを共催しています。本年度からは民間の託児サービスと協力し、お子さまにより楽しんでいただけるよう工夫します。さらに、「島根大学医学部附属病院クリニカルスキルアップセンター」にてシミュレーショントレーニングを託児付きで受けていただくこともできます。



★復職支援相談窓口

支援担当者（女性医師）が、相談やオーダーメイドの復職を応援します。地域医療に興味がある方には、県の研修サポート制度等も活用しながら復職までをお手伝いします。

★学生さんとのコミュニケーション

昼食を食べながら楽しく講演を聴くことができる「ランチオンセミナー」を月1回開催。先輩医師がキャリアについて語ります。

★キャリアプランの啓蒙

ご自身のキャリアプランのロールモデルとなる女性医師を捜し、将来のキャリアについて考える機会となる研修を支援しています。

★就労環境改善のためのバックアップ

先進的な取り組みをすでに行っている講師を招いての「働きやすい病院づくり研修会」（管理職向け）や「医療従事者支援担当者研修会」、「医師事務作業補助者研修会」など島根県で働く医師がより楽しく働ける環境づくりのために、各種研修会の開催や情報提供を行っています。



ネットワーク&チームワークで
女性医師がより働きやすい
環境づくりをしよう！

医師を目指す学生のうち女性が全体の3分の1を占め、20代では3割の女性医師が活躍すると言われる昨今。とくに医師不足が深刻な地域医療においては、一般企業と同様に、女性の力が期待されています。しかし、悩みがあっても相談しづらく、プランを立てにくいといわれてきた女性医師のキャリアは、多くの人が結婚や出産などのライフイベントによって中断を余儀なくされることも……。

そのキャリアを支援し、島根県の未来へ活かしていただけるように、2014年8月、しまね地域医療支援センターに委託を受け島根大学医学部地域医療支援学講座内に「えんネット」が設立されました。

現在の働き方に悩みを抱える方のため、ホームページや相談窓口を開設、育児や介護などのライフイベントを機に離職した方の復職や、今後に不安を抱える方を対象に、キャリア支援を行います。

「私も出産や夫の転勤を機に、



日高美佐恵

島根大学医学部
地域医療支援学講座特任助教

島根県浜田市出身。島根大学医学部地域医療支援学講座特任助教であり、3児の母。「えんネット」の相談窓口で、多くの医療従事者のキャリア形成をサポートしています。

えんネットでは
学生教育から育児支援、
キャリア支援まで
様々な支援を積極的
に行っています

SHIMANE DOCTORS CAREER & LIFE



えんネット INTERVIEW

今回紹介する医師は、やりがいを持って活き活きと働くことのできる医療現場をめざして尽力する、出雲市立総合医療センター内科医長の結城美佳先生。島根で医師としての幸せを噛みしめながら、その道を歩み続けて行くキャリア&ライフについて尋ねた。

女性医師がつながり、
支え合って
これからの島根の医療を
豊かにしていきたい

| INTERVIEW | Mika Yūki

出雲市立総合医療センター
内科医長

結城美佳先生



「エックス線は使えないけれど、周りからのサポートさえあれば、なんとか続けられるんですよ」
当直だけは夫や身近な医師が代わり、産前産後の数週間だけ休んで復帰したというから驚きです。当時、夫の単身赴任も重なり、自宅から白衣を着て保育園へ子どもを送り、着替える間もなく病棟から白衣のまま保育園へお迎えに行く日々。
「カンファレンスルームに子どもを連れて来たり……。離乳食なども看護師から教わり、職場の人が一緒に育ててくれた気がします。今思うとワールドに子育てを楽しんだなど（笑）。ただ、どれだけ大変でも、キャリアを中断したくなかったし、続けられたことで今があります」
その後、第二子を妊娠。その時も、やはり周りの医師や看護師の助けがあったて、医師生活を継続できたといえます。

医療で地元貢献するためにも
今までお世話になった分まで
若手のキャリアを支援したい

「一人だけがんばるのは、なかなか難しいでしょう。でも、昔と違って今は時代が女性医師の力を必要としています。そして、先輩の女性医師も増えてきています。手助けがあれば、必ず医師としてキャリアを継続できる時代になるでしょう」
女性医師のキャリアを支援できることがあればと、今回、えんネットとの協力も実現。

「夜間の緊急内視鏡や当直ができないなら、代わる人がやればいい。大部分のことは、誰かが助けられるし、今は勉強会や試験も託児付きになるなど、支援が充実しています。何より、子どもが待っている、さらに楽しく働けると思いませんか」
こうして、母として、医師として

キャリアを継続してきた結城先生がキャリア支援を具体的に始めたのは、二年前にできた病院独自の「育児支援枠制度」のスタートがきっかけ。非常勤で来ていた女性医師に、支援制度を利用して常勤への復帰を応援したり、専門医の資格取得や学会へ参加したりと、ともに活動しています。

「私以外にも、子育てが一段落し、若手を助けたい女性医師がたくさんいるはず。でも、どう助けていいか、わからないんですよ。何か伝手がなければ助けられなかった人も、今後は『えんネット』がつないでくれるだろうと期待しているし、全力で協力していきたい」
今後、キャリア講座やセミナーなど、研修医・若手医師や学生へのキャリアアプラン啓蒙にも、積極的に取り組む予定です。

「非常勤でも、昼間働いているのは同じ。常勤で働いたら、専門医の資格も取れるし免許の更新もできる。『がんばれ！』って言うってくれる仲間や先輩、利用しやすい支援枠など働きやすい環境を整えれば、きっとキャリアを継続しやすいはず」
結城先生に最後にたずねたのは、ご自身がキャリアを継続して良かったと感じる瞬間のこと。

「母として、医師として、働く背中をしっかりと見せてきたこと。『お母さん、かっこいいよ！』って、子どもたちが褒めてくれた手紙は、いつも持ち歩いている宝物！」
子育てと医師人生、両方を楽しむ女性が増えたら、病院の雰囲気はもうろん、子どもたちの医療への意識もきっと変わるでしょう。

TOPICS

えんネットより

4月14日(火)

平成27年度 第1回目

ランチョンセミナー 開催!

講師 結城美佳氏
出雲市立総合医療センター 内科医長

日時: 4月14日(火) 12:00~12:40

場所: 島根大学医学部みらい棟2F

地域医療交流サロン

定員: 30名(参加費無料・お弁当あり)

詳しくは裏表紙「SCHEDULE」をご覧ください。

DATA

出雲市立総合医療センター

■診療科
内科・外科・耳鼻咽喉科・眼科・産婦人科・小児科・整形外科・放射線科・泌尿器科・精神科・脳神経外科・皮膚科・消化器科・循環器科・リハビリテーション科・神経内科

連絡先

〒691-0003 島根県出雲市東分町613番地
TEL: 0853-63-5111(代表)
FAX: 0853-63-4228
E-mail: hs-ij@city.izumo.shimane.jp

ホームページ

<http://www.city.izumo.shimane.jp/www/contents/1136507260132/index.html>

出雲市立総合医療センター



PROFILE

結城美佳 ●ゆうきみか

島根県松江市出身。二人の母(高校1年生、小学校6年生)。島根医科大学医学部医学科卒業。医学博士。島根医科大学医学部附属病院第2内科を経て、出雲市立総合医療センターへ。現在、内科医長を務める。日本消化器内視鏡学会、専門医・指導医、中国支部評議員など多数の学会で活躍し、経鼻内視鏡に関する臨床研究においては全国的にも知られた存在。



「結城、でかしたぞ!」という教授のひと言に、どれだけホッとしたか、今でも鮮明に覚えていますよ。と、出雲市総合医療センターの結城先生。内視鏡の分野で全国的に活躍し、多くの医師が目置く女性医師であり、2児の母でもあります。
そんな彼女が97年に大学卒業後、消化器内科に入局し、心に決めていた内視鏡を専門とする臨床の道へ進んだ夏のこと。同じく内科医であり、大学時代からのパートナーである夫との間に第一子を授かったのです。
「本来、妊娠したら両手離して喜びたいもの。でも、医師になり立てて、秋には学会も控え……。さらに教授も就任されたばかり。これはどうしたものかと、同じ医局の夫と恐る恐る報告に……」
そこで聞いた、でかした!という言葉には、とても勇気づけられました。さらに、県外出身の夫を持ち、子どももできた結城先生に、島根県民を二人も増やしてくれたと喜んでくださったとか。そこから、大きなお腹を抱えての医師生活がスタート。

母100%、医師100%で働く!
その願いを叶えられたのは
周りのサポートのおかげでした

「結城、でかしたぞ!」という教授のひと言に、どれだけホッとしたか、今でも鮮明に覚えていますよ。と、出雲市総合医療センターの結城先生。内視鏡の分野で全国的に活躍し、多くの医師が目置く女性医師であり、2児の母でもあります。

えんネット

×
PICKUP HOSPITAL #01



今回 PICKUP した 病院 はコチラ！

地域とともに歩んで60年！

出雲市立総合医療センター

Izumo City General Medical Center

MEMO

出雲市立総合医療センター 独自の育児支援制度とは

育児と仕事の両立を支援するため、常勤医師（地方公務員）としての採用であるも、10歳未満の子を養育している場合、希望によって宿日直・待機・時間外勤務を軽減、免除する制度です。

給料、手当てが一定程度減額されますが、他の医師に遠慮することなく勤務を軽減できます。



診療部長
駒澤慶憲先生



出雲市立総合医療センター
病院事業管理者
栗 稔弘 先生
専門分野：内科一般、消化器病

病院事業管理者からのメッセージ

医師に患者様に女性が多く、
地域一明るい病院を目指して

院長の「病気を診るのではなく、ひとりの人間を診る」という考えのもと、どんな患者様でも安心して治療を受けられる環境を作りたいと職員一丸となって努力しています。科の多さや専門性よりも、病院全体で一人ひとりの患者様を診られるよう体制づくりを行っています。ここ数年では健診にも力を入れ、人間ドック学会からの機能評価も受け、多くの患者様の健康に貢献しています。

全体で強気にバックアップしています。また、健診から検査まですべて女性医師が担当する「レディースドック」等、女性の活躍の場が多いため、キャリアアップしていただける環境です。こうした取り組みによってキャリアアップを望む女性医師が当院に増え、地域に暮らす女性の患者様もより通いやすい病院となり、すべての人が訪れて気持ちのよい病院を目指していきます。

えんネット INTERVIEW

出雲市立総合医療センターで育児支援制度を利用して常勤医師として勤務する高橋芳子先生にキャリア&ライフについて尋ねた。



踏み出す勇気をくれる
支援制度と先輩が
途絶えたキャリアを
つなげてくれた

「結城先生が子育てしながら楽しく働かれています。刺戟を受けて復帰を決めました。聞いています（笑）」

二年前から同院の育児支援制度を利用して高橋先生は、現在、結城先生と同じ消化器内科に常勤医師として勤務しています。

「最初、一歩踏み出すまでは大変だった。救急外来を診たり、内視鏡の処置を増やしたり、いきいき働く姿を見ると嬉しいですね。診療を終えてダッシュでお迎えに走る高橋先生を見かけると、昔を思い出します」

と結城先生も復帰後の様子を見守っています。現役時代の現場経験ゆえに、子育て中の復帰は無理だと思いがち。しかし、実際に復帰してみると、高橋先生は支援枠での働きやすさと同時に、やりがいを感じているといいます。

「一度ブランクができ、健診で健康な方ばかりと接していましたから、病気の患者さんと向き合う臨床への復帰は勇気がいりました。そんなとき、結城先生が熱心に背中を押してくだ

さり、ようやくできた決断でした」
今では学会活動や専門医取得にも挑戦。同院が学会指定の指導施設でもあるため、常勤で働くことはキャリアアップにもつながります。

「昔は、入局した時点から、出産後は非常勤で勤めるものと思っていました。けれど今は、こうした支援枠や『えんネット』のネットワークを味方に、女性医師がキャリアアップを望める時代。こうした支援があることを若いうちに知っておくだけでも、キャリアアップは変わってくるのではないのでしょうか」

いつか訪れるライフイベントに備え、支援制度やえんネットなど相談できる場を知ること、キャリアイメージを描く一つのきっかけになっていくでしょう。

「ぜひ多くの方に、復帰や継続しやすいキャリアアップ構築をし、医師人生を楽しんでほしいですね」



INTERVIEW | Yoshiko Takahashi

出雲市立総合医療センター

高橋 芳子 先生

PROFILE

● たかはしよしこ

島根医科大学医学部医学科卒業。島根医科大学医学部附属病院第2内科を経て産休へ。出雲市立総合医療センターでは1年間、非常勤医師として健診業務に携わり、現在、育児支援制度を利用して常勤医師として勤務。